

平成27年度事務事業評価シート(26年度実績)

◎基本情報

事務事業名	鳴門ウチノ海総合公園活用推進事業		担当部署	経済建設部 公園緑地課	
総合計画体系			根拠法令計画など	徳島県鳴門ウチノ海総合公園・徳島県鳴門総合運動公園の管理運営に関する基本協定・年度協定	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業期間	開始	平成 <input type="text" value="27"/> 15 年度
政策(中項目)	3	身近に自然を体感できるまち なんと			終期
(小項目)		公園・緑地			
施策	2	緑の保全と創出			
基本事業	1	公園の整備			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市民(子どもを主とする)						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	子どもの主体的な体験学習活動を支援する機会や親子のふれあいの場を提供し、利用者の拡大を図る。						
事業計画	26年度に何を計画していたか	・U-10フットサル大会 ・児童画作品コンクール ・わくわくパーク ・ウチノ海総合公園まつり ・キッズサッカー						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	単位
		活動(イベント等)開催件数	6	5	8	8	8	件

◎実施結果(DO)

事業実施内容	26年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	鳴門市自治振興連合会、鳴門市ボランティア連絡協議会、(社)徳島県サッカー協会等から構成される「鳴門ウチノ海総合公園を育てる会」と連携し、子どもの主体的な体験学習活動や親子のふれあいの場を提供するイベントを積極的に開催した。						
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他							
指標名		25年度実績	26年度実績	27年度目標	28年度目標	29年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	活動(イベント)開催参加人数	17,450	14,500	18,000	18,000	18,000	人
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったかを示す指標	活動(イベント等)開催件数		8	4	—	—	—	件
	目標達成率(実績/目標)			80.0	—	—	—	%
今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況			計画どおり		

(千円)

財源内訳	平成26年度	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
		当初予算額		0	0	0	3,545	0	3,545
		全体予算額		0	0	0	3,545	0	3,545
		決算額		0	0	0	3,326	0	3,326
		繰越額		0	0	0	0	0	0
	人件費		正規職員(6,878千円/人)	臨時職員(2,023千円/人)	総人件費		総事業費		
		1.0		6,878	10,204				

【鳴門市行政評価】

【事務事業名：鳴門ウチノ海総合公園活用推進事業】
(千円)

年度	25年度決算	26年度決算	27年度	28年度	29年度	
事業費推移	事業費	8,576	3,326	3,912	3,912	3,912
	うち一般財源	4,253	0	0	0	0
	人件費	6,517	6,878	6,878	6,878	6,878
	総事業費	15,093	10,204	10,790	10,790	10,790

◎項目別評価(CHECK)

評価項目	評価値	所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった わくわく夏パークが雨天のため利用者は少なかったが活性化を図ることができた。
	効率性	B:概ね効率的だった 地元の鳴門ウチノ海総合公園を育てる会と連携により事業内容の充実も図ることができた。
②成果に対する評価	指標名	活動(イベント等)開催件数
	目標	5 件
	実績	4 件
評価	B:概ね目標を達成できた 子どもの主体的な体験学習活動や親子のふれあいの場を提供するイベントの企画開催ができた。	
③総合的な評価	B	利用機会の拡大に努めることができたため、概ね目標を達成できたことから、B評価としたい。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	鳴門ウチノ海総合公園の活用を推進するためには、利用者ニーズへの適切な対応が公園の利用増機会を拡大できるイベントを企画・立案することが必要である。 そのためには、モニタリングを通じて利用者ニーズの把握・分析を行うとともに、平成15年10月に公園の利用促進を図るために設立した「鳴門ウチノ海総合公園を育てる会」の意見も聞きながら、業務改善や新たな企画を立案していくことが不可欠である。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H27年度	子どもの主体的な体験学習活動や親子のふれあいの場を提供するイベントを企画開催していく。(新規:婚活イベント)			
	H28年度	引き続き、鳴門ウチノ海総合公園の活用を推進していくため、積極的にイベントを企画開催していく。			